



地域と生きる

おんが病院・おかがき病院だより

おんが病院の癒しと安らぎ

癒しの空間

【屋上庭園】

入院されている患者さんは、これまでの自由でのびのびとした快適な生活から、狭い病室での生活を余儀なくされています。そこで、少しでも癒しの空間を持っていただくために、バリアフリーの「屋上庭園」を作りました。

175坪ある屋上の庭園を20区画に分けて、各職域で一区画ずつ受け持っています。

どうぞ、入院患者さんは朝夕の散歩道として、あるいは、お見舞いのご家族の方との団欒の場としてご利用ください。



安らぎの時間

【ピアノ演奏】

毎日昼休みに玄関2階ロビーで健診部職員の大村恵理子さんがピアノの演奏を行っています。

気持ちを高揚させてくれるショパンの多くの名曲、ロマンチックなモーツァルトの曲、スケールの大きなベートーヴェンの曲など、クラシックは勿論、ジャズ、Jポップ、童謡まで幅広く演奏していますし、アンコールにも気軽に応えてくれます。

入院の患者さんはもとより、外来の患者さん方もどうぞお楽しみください。



在宅総合支援センター

訪問看護ステーション

093-281-3110

ケアプランセンター

093-281-3113

在宅医療連携拠点

093-281-3100



遠賀中間医師会 おんが病院

093-281-2810

地域総合支援センター

にこにこクラブ

093-282-7609

ショートステイ おかがき

093-281-5117

通所リハビリテーション

093-281-5120

ケアプランセンター

093-282-7157



遠賀中間医師会 おかがき病院

093-282-0181

呼吸器外科

初めまして。

平成 29 年 4 月 1 日よりおんが病院呼吸器外科で勤務することになりました岩浪崇嗣(いわなみ たかし)と申します。平成 13 年度卒で、主に呼吸器外科疾患を中心に診療してまいりました。当院では呼吸器内科領域も診療させていただきます。前任者の市来が立ち上げたおんが病院呼吸器外科をますます発展させるべく頑張る所存です。

赴任してから約 4 か月経ち、日常業務にも何とか慣れてきました。

紹介患者さんも徐々に増えつつあります。仕事をしながら、当病院は地域の皆様に支えられていることを実感します。入院治療が必要な状態の患者さんを治療し、開業医の先生方にお返しすることを日々行っております。また、高齢化で、年々増加している誤嚥性肺炎などに対しても地域施設の皆様と連携し、入院加療を行っています。

呼吸器症状や、胸部異常陰影などお困りの症例は当院で精査いたしますので、お気軽にご紹介ください。また、呼吸器疾患だけでなく、入院加療が必要な患者さんを積極的に診療し、遠賀・中間地域に即した医療を提供したいと思っております。

まだまだ若輩者ですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



呼吸器外科部長 岩浪 崇嗣

整形外科

平成 29 年 4 月から 1 年間、おんが病院に赴任して参りました馬渡大介(まわたり だいすけ)と申します。九州大学整形外科教室の医局に所属しております。当院では外傷の患者さんを中心に、変形性関節症や関節リウマチなどのリウマチ性疾患、首肩痛や腰痛などの生活の質を落としている痛み、四肢の痺れ感などの神経症状など、多岐に渡り診療させていただいております。手術症例や診断に難渋する症例がございましたら、お気軽にご紹介ください。なお、脊椎疾患に関しましては週に 1 度(火曜日)に九州大学より脊椎専門医であります、林田先生に診察いただいておりますが、手術症例に関しましては専門機関へご紹介となりますのでご高配いただければ幸いです。



馬渡 大介

高齢化に伴い圧迫骨折や大腿骨周囲骨折など、寝たきりの原因となる骨折を多く目の当たりにし、医師の使命は怪我を治すだけでなく、いかに怪我を予防していくかにあると感じております。そのためには地域の医療機関や福祉施設と連携をとり、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を周知させていく必要があります。赴任期間は 1 年間と非常に短期間ではございますが、遠賀・中間地域の方が一人でも明るく元気で、活力のある生活を送れますよう、精一杯尽力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

おかがき病院 地域包括ケア病棟 開設について

北病棟 看護師長 森尾 千秋

おかがき病院は、回復期、慢性期医療の提供に加え、より地域の皆様にお応えするために平成 29 年 12 月 1 日「地域包括ケア病棟」を開設する予定です。

当院は、2006 年 11 月に開院し、回復期リハビリテーション病棟（50 床）、医療療養病棟（50 床）を有して急性期病院などと連携機能してきました。

しかし、従来より、医療療養病棟は入院要件（医療区分、ADL 区分）により病床利用しずらく、また、平成 28 年度診療報酬改定で区分の見直しがされたことなどで病床利用が低下し、空床があるのにベッドを使えない状況となりました。その為、地域の医療機関や住民の要望・期待にタイムリーに応えられないという課題があります。地域包括ケアシステムを支える役割を担う病院を作るという方針の基、地域包括ケア病棟運営計画が上がりました。

地域包括ケア病棟は、急性期治療を終了し、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者に対し、在宅復帰に向けて医療管理、診療、看護、リハビリテーションを行うことを目的として在宅あるいは介護施設に復帰予定の方などを対象にする病棟です。

当面は、地域包括ケア病棟 30 床を開設し、医療療養病棟を 20 床に縮小して、現、回復期リハビリ病棟（50 床）と共に運営していきます。地域医療構想の中での役割・機能を発揮していきながら、今後、20 床の医療療養病棟の在り方を検討していく予定です。

地域包括ケア病棟は、当院の看板であるリハビリテーションの強みを特徴に盛り込み、専従セラピストによるリハビリテーションと日常生活機能訓練として摂食嚥下と身体機能訓練などを個別計画により実施していきます。

現在は、その準備段階として、リハビリテーション以外の長期療養者の離床活動に力を入れています。内容は、午前午後のラジオ体操、リハビリ体操の実施、昼食、夕食前の誤嚥予防の為の口腔機能訓練、身体活動としてレクリエーションを日課として行っております。臥床時間を減らす活動で、在宅復帰に向けて医療管理、診療、看護、リハビリテーションの提供と共に「時々入院、ほぼ在宅」を支援する病棟、病院を目指しています。



リハビリ体操

嚥下体操

レクリエーション

地域総合支援センター 在宅連携について

地域総合支援センターは平成28年6月から4つの事業所として開設し、約1年3か月が経過しました。従来から運営している①ニコニコクラブ(重度認知症デイケア)に加え、②おかがき病院通所リハビリテーション、③ショートステイおかがき、④おかがきケアプランセンターを加えた集合施設として、在宅で生活している要支援・要介護の方、またはそのご家族を支えています。

岡垣町は高齢者世帯が多いという特性があります。高齢者同士の介護や認知症を患いながら在宅生活を送られている方が多くいらっしゃいます。現在関わりのある利用者様には安心して在宅生活が継続出来るように、ご本人の心身の状態やご家族様の状況に合わせて様々なサービスを紹介・提供し、医療機関及び介護事業所との連携に力を入れています。

私は平成29年4月から当センターで勤務していますが、相談を受けた際に、「こんなサービスがあるなら、もっと早く利用すればよかった」等の声が多く聞かれます。また介護サービス自体を知らずに、ご本人様やご家族だけで抱え込むケースや、介護が一時的に行えない時にどうしたらいいのかわからず苦勞したという話も聞きました。インターネット等が普及した時代ですが、介護施設やサービスの紹介においては高齢者世帯へ発信はまだ遅れていると感じています。

そんな時に、地域総合支援センターはいつでも相談ができ、一緒に解決の糸口を考えることができる場所であればと考えています。地域総合支援センターは介護の知識を幅広く持つ専門家が皆様のご要望にお応えいたします。

ご相談だけでもかまいませんのでお気軽にご連絡下さい。

地域総合支援センター

担当窓口 川端賢治 : 080-8583-7971



にこにこクラブ



ショートステイおかがき



ケアプランセンター



通所リハビリテーション

発行日:平成29年10月吉日

発行:遠賀中間医師会おんが病院・おかがき病院

編集:おんが病院・おかがき病院広報委員会